

戸倉上山田温泉まちづくり推進会議だより vol.2

回覧

「戸倉上山田温泉まちづくり推進会議」は、皆さんとともに、この地域にさらなるにぎわいと住みやすさを創り出していく会です。

令和6年5月23日（木）千曲市総合観光会館で行われた臨時委員会の概要を皆さんにお知らせいたします。

1. 出席者

委員16名、千曲建設事務所2名、事務局9名

2. 開催趣旨

総会で「この地域で計画されている道路を説明してほしい」、「道路のことについて住民が理解した上で事業を進めてほしい」というご意見をいただき、道路について委員の理解を深めるために開催されました。また、今後のまちづくり推進会議の部会の説明を行いました。

3. 国道18号バイパスについて

【進捗状況】

■千曲市内の未事業化区間は、

①栗佐橋北側 約1km

②八幡～若宮、戸倉上山田温泉区間 約9km

【今後の見通し】

■事業中区間の供用開始時期は、国に確認をしているが、具体的な時期は示されていない。

■地権者への意向調査により合意が得られている区間があり、早期の事業効果が期待される観点から、次は八幡～若宮区間の事業化を国へ要望していく。

■事業化を要望する順番は、最初に八幡～若宮区間、次に戸倉上山田温泉区間、最後に栗佐橋北側区間となる。



4. 県道戸倉上山田線について

【進捗状況】

■ 昭和28年に都市計画道路として決定している。しかしながら、この計画線では実際に道路を作るのにどの影響があるのかわからない。なるべく正確なルートを示すため、地形測量（ドローン）を行いたい。

■ 前回の総会でいただいたご意見により地形測量がストップしている状態。

【今後の見通し】

■ 事業認可されるまでに最短で5年。事業を開始してから概ね5年～10年。全体で10年～15年程度はかかる見通し。

■ ①地形測量（ドローン）、②予備設計を行った後、何ルートか示したい。

（現 状）

- 未整備区間の周辺は相互交通がしにくい狭い道路であり緊急車両の通行も困難
- 密集した住宅地、空き家、空き地がある
- 未整備区間 延長約400m、計画幅員8m



（整備後）

- 緊急車両の通行確保、消防活動支援など密集住宅地の環境改善が図られる
- 地区内の通過交通を担う道路として機能する
- 新たなまちづくりを進めるための道路としても活用が可能

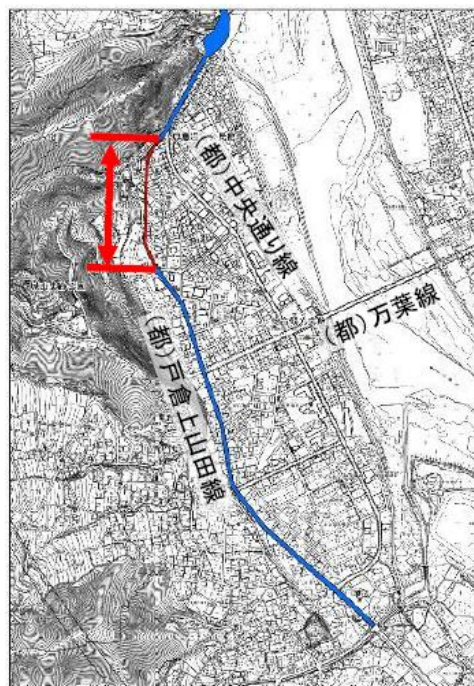
凡例

都市計画道路

整備状況

都市計画道路（整備済み）

都市計画道路（未整備）



整備スケジュール案

	検討期間（最短でも5年程度）				事業開始～（規模等によって5～10年程度）							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年					
地元説明等	通知				説明会（必要に応じて複数回）							
R6年度予定 ①地形測量・予備設計 （道路線形の検討）	→				事業開始							
②路線測量・詳細設計 （道路計画の決定）	ここで線形や構造が決定 →											
③都市計画変更 （原案作成、公聴会、都市計画審議会、関係機関協議等）	計画が決まれば都市計画の変更が可能 →					事業開始後に用地測量や物件調査、用地補償などを行い、工事着手は事業開始から最短でも5年後程度となる						
④事業認可 （国土交通省協議、認可告示等）	都市計画の変更後に事業の認可（事業化）を申請 →											
⑤用地測量・物件調査 （事業用地の決定・用地補償費の算定）						→						
⑥用地補償							→					
⑦工 事								→				

事業開始後に用地測量や物件調査、用地補償などを行い、工事着手は事業開始から最短でも5年後程度となる

5. 戸倉上山田温泉まちづくり推進会議について

(1) スケジュール (最新)

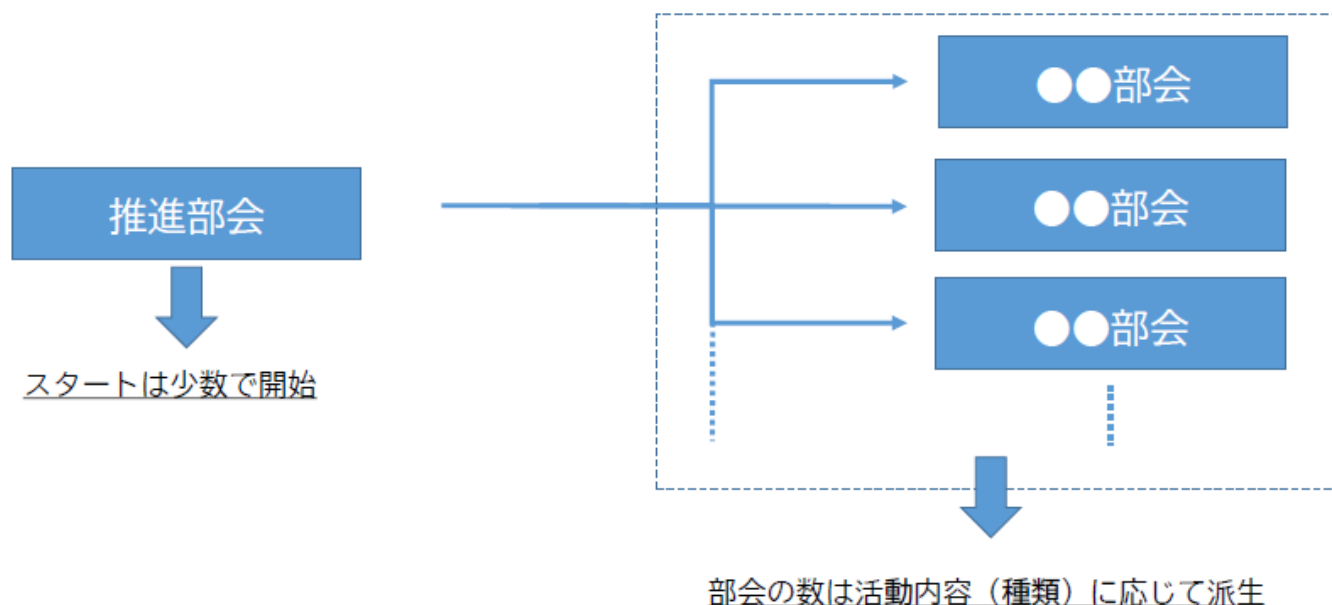
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
推進会議 (総会)	● 4月14日	● 4月	● 4月	ランドデザイン策定
推進会議 (役員会)	● 8月上旬 ● 1月頃 部会の活動内容協議	適宜開催 →	適宜開催 →	
臨時委員会	● 5月23日			
部会	● 7月下旬 ワークショップ ● 9月頃 ワークショップ 取組内容のまとめ ● 11月頃	適宜開催 →	適宜開催 →	
その他	→ まち歩き 8～10月頃			

(2) 部会の進め方 (イメージ)

■ 部会は当面1部会で運営し、今後必要な部会を検討していく

■ 部会員の選出方法は、

戸倉上山田温泉まちづくり推進会議の委員本人 または 委員からの推薦



6. 委員からの質疑と応答

- Q. 国道 18 号バイパスや県道を一つの表でわかるように提示してほしい。また、交通量のデータもあるなら開示してほしい。道路のタイムスケジュールが示されないともちづくりはできないと思われる。
- A. 国道 18 号バイパスの事業中区間の供用開始時期は、国に確認しているが、具体的な時期は示せないと回答をいただいている。
- しかしながら、まちづくりで必要というご意見も踏まえ、国へスケジュールを示していただけるよう要望していきたい。
- また、交通量のデータは、市が行ったものや県が現在行っているものを整合し、精度が高まってから提示したい。
- 今後、道路関係について現在わかっていることをまとめた資料を作成していく。

- Q. 県道について地形測量の話があったが、昨年も同様な調査を行っていると思われる。違いは何か。
- A. 昨年は現地のどこに道路の線が引いてあり、実際に道路となった場合、どういう障害があるのか確認するための調査。この調査だけでは皆さんにどこに道路ができるのか提示するのは不十分である。
- このため、本年はドローンを使った地形測量を行い、予備設計後、何ルートか皆さんに提示したい。

- Q. 国道 18 号バイパスでは、八幡から若宮区間、若宮から戸倉上山田温泉区間、栗佐橋北側が未事業化となっているが、この区間すべてを要望しているのか。
- A. 地権者への意向調査により合意が得られている区間があり、早期の事業効果が期待される観点から要望としてはまず八幡から若宮区間としている。
- また、要望の順番として、八幡から若宮区間、戸倉上山田温泉区間、栗佐橋北側の未事業区間となる。

- Q. 堤防道路を県道に変えることはできるのか。
- A. 難しいと思うが、貴重なご意見としてお聞きする。

7. 今後の方向性について

- 県道戸倉上山田線の地形測量（ドローン）を行っていきます。
- ※ 地形測量を行う前に県道戸倉上山田線の事業について説明会を開催します。
- 関係してくると思われる方に後日、説明会のご案内をします。
- 戸倉上山田温泉まちづくり推進会議で部会を開催し、今後の事業内容を検討していきます。